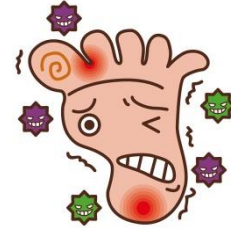


汗ばむ季節 水虫注意報！

水虫の正体は「白癬菌」というカビの一種です。皮膚の一番外側の角質に寄生しています。

春先から夏場にかけて、高温でジメジメしてくると増殖して患部を悪化させます。

白癬菌は汚れを好み温度15℃以上、湿度70%以上になると暴れだすと言われているため、普段から患部の冷涼、乾燥、清潔を心がけましょう。



水虫の種類・症状

●足の水虫

趾間型
(しかんがた)

足の指の間、特に中指と薬指の間によくできる。皮膚が赤く腫れてただれ、かゆくなったり皮がむける。皮膚が白くふやけることもある。

小水疱型
(しょうすいほうがた)

足の裏の土踏まずや足の指の付け根に近い部分などに、小さな赤い水疱ができ、日を経つと乾いてカサブタになる。強いかゆみを伴う。

角質増殖型
(かくしつぞうしょくがた)

足の裏全体やかかとの角質層が厚く硬くなる。かゆみはなく、皮膚がむけたり、あかぎれのようなひび割れを起こしたりする。

●足以外の水虫

爪水虫
(つめみずむし)

爪白癬(つめはくせん)ともいう。爪全体が白濁して光沢がなくなり脆くなる。足の白癬菌がきちんと治療されず爪にうつるケースが多いといわれている。

ゼニタムシ
(体部白癬:たいぶはくせん)

顔や首をはじめ体のあちこちに発生。最初の頃は虫刺されのような赤いブツブツができ、その後円状になって広がり激しいかゆみや炎症をおこす。

シラクモ
(頭部白癬:とうぶはくせん)

頭にできる水虫。頭皮の炎症と脱毛のほか、毛穴が赤く腫れることもある。子どもに多くみられる。

水虫を防ぐセルフケア

- ★ 入浴時によく泡立てた石鹸で指の間まで優しく丁寧に洗いましょう。洗った後は水分をよく拭きとってきちんと乾燥させましょう。
- ★ 同じ靴を毎日履くのはやめ、翌日は別の靴に履き替えましょう。
- ★ 共同で使う施設では素足を避けましょう。
- ★ 通気性の悪い靴・靴下を避けましょう。

